

今後のP T A活動の在り方について

1 P T Aとは

P T Aとは、そもそも親と教師との共通の目的や関心を持ってつくる自発的な集団や組織であり、保護者が子どもたちのために何かできるか考え、また、教師側としては保護者とともにできることはないかを考えていく組織であり、主従の関係ではありません。

昨今、P T A活動について様々な意見があるようです。例えば、負担感、一部の役員のための活動、活動の意味などです。

しかし、P T A活動についてぶれない軸は「子どもたちのため」です。保護者と教員が連携しながら、同じ目的をもって子ども達を育成していくべきものであると私は思います。

2 本校の実態

現在の第一小学校のP T A活動の実態は、会長が中心となり、三役をメインにして諸活動を支えていただいています。専門部は研修部・保体整美部・母親委員会があり、それぞれに部長、委員長がおり、年間活動を計画しています。

今年度については、研修部と母親委員会が合同で、研究会を実施(小松ひろみ先生)。保体整美部は運動会の協力と水泳大会の協力をさせていただきました。

研修の内容は充実しているが、保護者が主体となる活動であっても、一部の保護者と教職員の負担が大きいこと、P T A総会の参加者が少なく(会場をホールにしたことで昨年よりは増えたが)P T A活動についての関心が薄いことや、他人事になっている感があります。

また、本校には千倉交歓会という大きなP T A行事が5年生にあることから、5年生の保護者の方には大きな負担をおかけしている現状があります。そこで、5年生では部長を避けたいから、早いうちに役員をしておこうという風潮もあるのではないのでしょうか。

本校保護者の共働き率は93%(延べ)で、仕事をしている中でP T A活動の負担は大きくなっている。また、父子家庭母子家庭の少なからずあることから、更にその負担は大きいのではないのでしょうか。

3 今後検討したいこと

P T A=保護者と教師が子どもたちのために、話し合い、考え、学ぶ会だということをそれぞれが認識し、「できる人が、できる時に、できる事を」というP T A本来の活動にしていければと思います。

『できる人が=お子さんのために動ける方 できる時=時間的に可能な方 できること=無理のわからない程度』の三本の柱で考えています。そして、学校の目標テーマに掲げている「自分事」を保護者の方にも共通理解していただき、保護者の方々も「自分事」として、P T A活動に携わっていただければと思っています。また、5年部会に関しては部長が大変だから、早いうちに役員をしておくのではなく、専門部役員(三役以外)を置かないことで、6年間を通して、子ども達を支えていただくという方向性を示していけるのではないかと考えます。

今後は、建設的なご意見をいただき、学校経営に生かしていきたいと考えます。そのために、下記のような構想をしております

記

令和9年度 P T A構想

熊対応など、突然の送迎についても子どもの命を守るという点で登下校も含め迅速な対応をいただいている反面、大きなご負担をおかけしています。また、子ども達の正しい生活習慣を作っていることに感謝申し上げます。今後、保護者の方の負担を減らすために、専門部を廃止し、三役及び学年部会とし、学校行事や整備等についてはボランティアを募る形で行ってはどうでしょうか。(一家庭一ボランティア)

保護者の方の負担減の中であっても、子どもたちのためという観点から、学年対象のP T A活動の一つと、全校対象のボランティア活動の一つ、そして、学校保健委員会を全体で行う形(児童・保護者がともに聞き考える会)にしていきたいと考えます。

組織 (会長1名 副会長3名 幹事3名(会計含む) 学年部長6名 監事2名)

会長

副会長2

副会長女性(組織上母親委員長を兼ねる)

庶務幹事

庶務幹事女性(組織上母親副委員長を兼ねる)

会計幹事

1 学年部長

2 学年部長

3 学年部長

4 学年部長

5 学年部長 千倉交歓会

6 学年部長 卒業関係

※各専門部会は廃止

※学校でご協力いただきたい項目・今後検討したい項目 (例)

- ・運動会前の校地内刈り払い
- ・運動会 ・水泳発表会
- ・学校保健委員会の参加(授業参観を兼ねる可能性もあり)
- ・学校大清掃(窓ふき) 一斉下校とし保護者との下校とする
- ・読書推進事業 ・学力向上計画の支援
- ・担任との懇親会(可能であれば)
- ・その他 保護者ができることとしての学校への要望

※もし何にも参加しない保護者がいたらというご意見もいただきましたが、こちらとしては、「できる人が、できる時に、できる事を」という視点で、保護者の方が何らかの事情でできなかったととらえます。お子さんが学んでいる学校で「何かできることはないか」と思っただけであれば幸いです。